

課題演習A3

「原子核と電磁場の相互作用」

原子核が電磁場中で感じる相互作用（超微細相互作用）を利用した原子核の磁気モーメントの測定を行い、原子核構造の理解を深める。

実験担当：

（核放射物理学）

瀬戸 誠、北尾真司、小林康浩、齋藤真器名

（核ビーム物性学）

大久保嘉高、谷口秋洋、谷垣 実

理論担当：

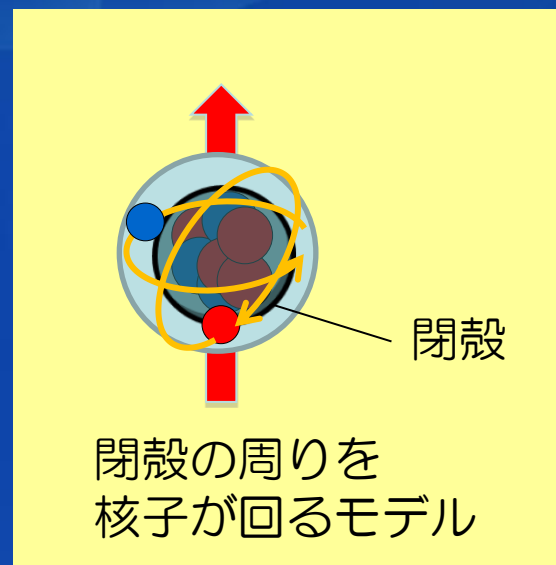
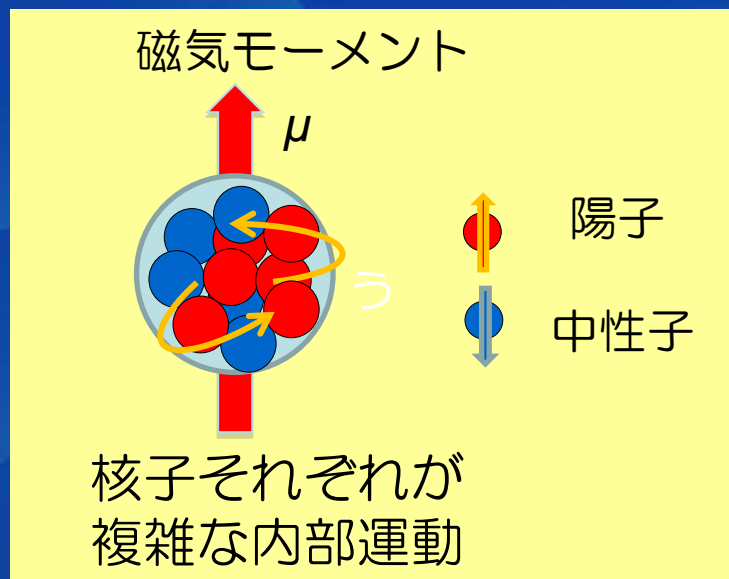
（原子核理論）

国広悌二、延與佳子

<理論ゼミ>

- 原子核構造の初歩的な理論を学習
- 原子核の磁気モーメントの理論的考察

独立粒子模型と殻模型

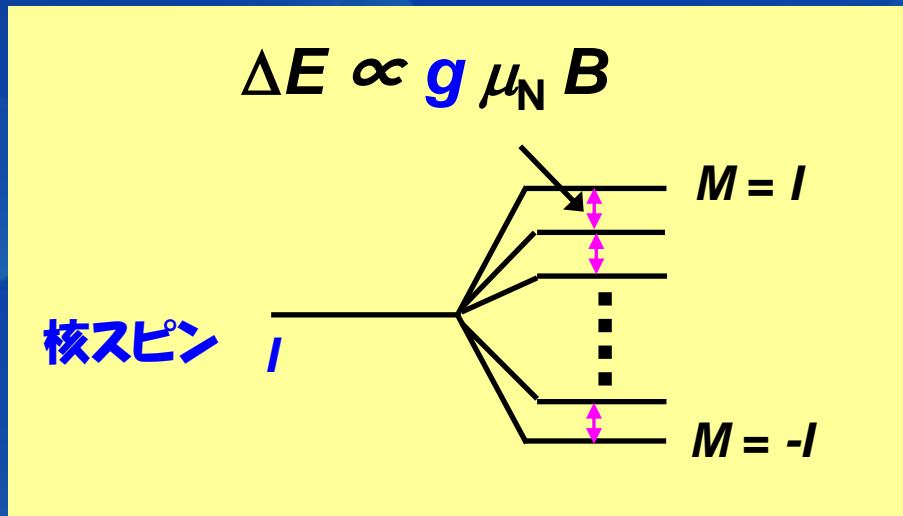


原子核の磁気モーメントが生成する仕組みを、理論的に考察

<実験ゼミ、実習>

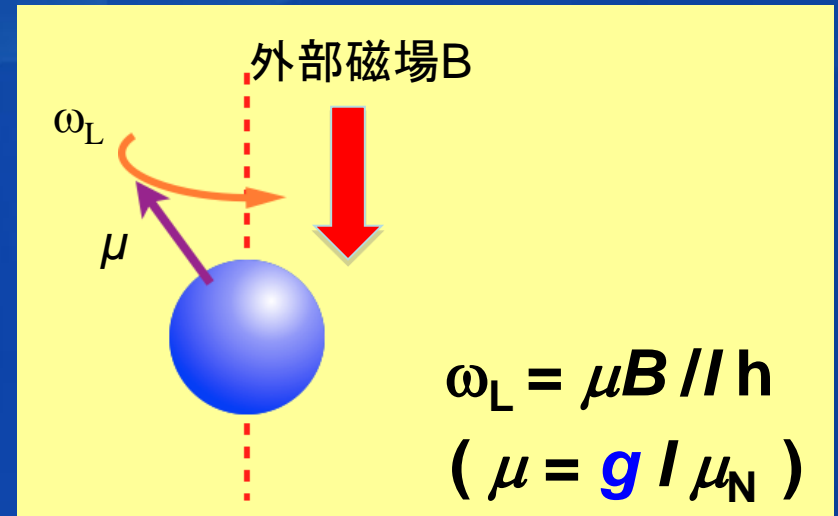
- 放射線検出器を用いた、放射線計測基礎技術の習得
- 原子核の超微細相互作用の検出方法の実習

メスバウアー効果



磁気分裂準位間のエネルギー
(10^{-7} eV) を測る

摂動角相関



磁場中での核の歳差運動
(10^7 回転/秒) を測る

<演習内容>

1. 実験および理論ゼミ

実験ゼミ： 実験方法の原理

理論ゼミ： 原子核構造論

有馬朗人著「原子と原子核- 量子力学の世界」
量子力学の初歩から原子核構造の議論まで

2. 実習

放射線計測の基礎的技術の実習

一般的な放射線検出器の使用法、回路系構築、解析手法

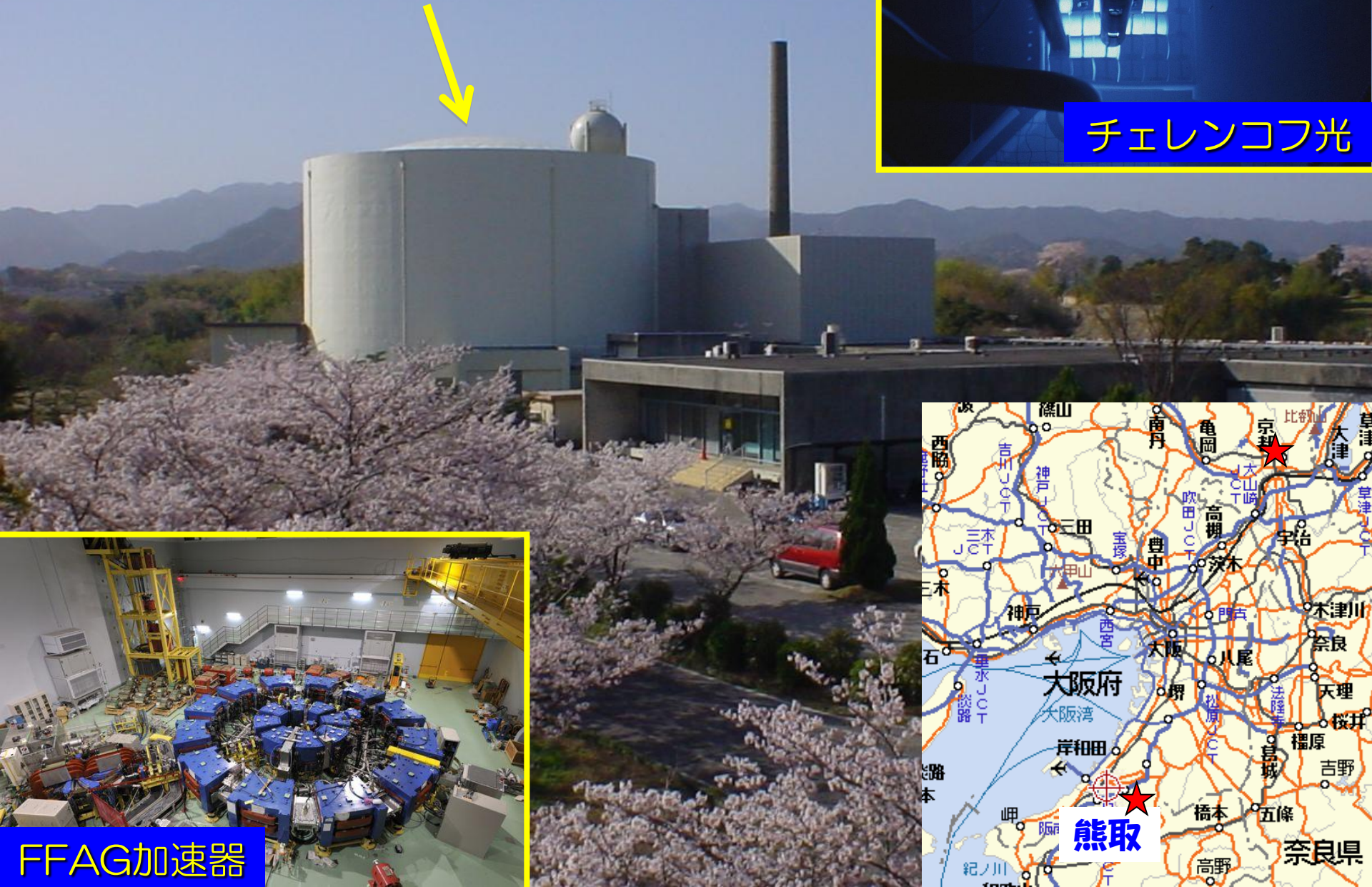
3. 本実験

原子炉実験所（熊取）にて放射性同位元素を用いた実験
京大研究用原子炉(KUR)、FFAG加速器の見学

4. 発表会 A6と合同

5. レポート提出

研究用原子炉 (KUR)



チェレンコフ光



FFAG加速器



熊取